



パーソナルファイナンス学会

JAPF News No.27 2014. 11.27

第 15 回全国大会を振り返って

会長 桑名義晴 (桜美林大学)

本学会第 15 回全国大会は、去る 10 月 4 日と 5 日の両日において上智大学で開催された。今回の統一論題は、これからの新しい時代で多様化する消費者金融サービス・ビジネスを念頭におき、「新時代のパーソナルファイナンスー新しい個人信用時代の健全なパーソナルファイナンスと多様化する消費者金融サービスー」であった。

今回の大会では、統一論題関連で 2 つの報告、自由論題報告で 5 つの報告が行われた。統一論題関連の報告は例年の形式とは異なり、両日にわたって行われた。第 1 日目には、佐々木健介氏 (NPO 法人 ETIC) による「NPO・地域金融機関が連携するソーシャルビジネス支援」が、第 2 日目には、宮本佐知子氏 (野村資本市場研究所) による「ライフサイクルに関わるパーソナルファイナンスの諸問題」が報告された。前者では、新しい時代・社会の創造に向けて起業する、いわゆる「社会起業家」の育成・支援に対する NPO と地域金融機関の連携活動の現状について報告された。また後者では、人々のライフサイクルのステージに対応したパーソナルファイナンスの役割や諸課題について報告された。いずれも、新しい時代・社会のビジネスや人々の在り方、およびそれらに対するパーソナルファイナンスの役割を考えるうえで、大いに参考になる示唆に富む報告であった。

自由論題報告では、近年のパーソナルファイナンスにかかわる諸問題に関する報告がなされた。PF ビジネスの歴史、消費者金融会社の海外展開、海外における PF ビジネスや金融教育、貸金業法の事業者金融への影響などの報告が行われた。今年例年よりやや少ない報告数であったが、それ

でもその課題は多様で、内容も興味深いものであった。

今回の全国大会を通じて痛感したことは、現在パーソナルファイナンス分野では国内および海外において新しい興味深い、かつ研究価値の高いテーマが次々と現れているということである。したがって、本学会はいままさに、そのようなテーマの研究に取り組み、多面的な視点から深く議論を展開する必要がある。幸い、ご承知のように、来年本学会は創設 15 年周年を迎えるのを機に、いくつかの研究プロジェクトを立ち上げ、その研究成果を世に問う計画である。今後の全国大会でも、その研究成果が報告される予定であるので、この期待に応えることができるのではないかと考えている。会員の皆様の積極的な参画をお願いする次第である。

最後に、本全国大会の準備段階から大会期間中まで、多大なご尽力をいただき、同大会の成功へと導いていただいた大会委員長の飯田隆雄先生 (札幌大学) と同実行委員長の竹之内秀行先生 (上智大学) に深甚なる感謝の意を表すものである。

第 16 回全国大会開催のご挨拶

実行委員長 竹本拓治 (福井大学)

先日 10 月 4 日、5 日の第 15 回全国大会は大変お疲れ様でした。

2015 年度の第 16 回全国大会の開催につきまして、福井大学における開催のご推薦を頂き、誠にありがとうございました。

また第 15 回全国大会の総会にてご承認いただき、重ねてお礼申し上げます。

福井県は日本のへソといわれます。

確かに日本地図全体を俯瞰するとその通りではありますが、東京からの時間距離は思いのほか遠い場所です。折しも北陸新幹線が 2015 年に金沢まで開通する予定であり、その金沢からはさら



に1時間弱ですが、少しは東京からの便が良くなるようです。

一方、当地は「関西の奥座敷」と呼ばれる芦原温泉がごぞいます。広域関西経済圏という言葉の通り、大阪や京都からは特急で1本という場所で、経済は大阪や名古屋の影響を受けております。そのためサポーターインダストリーとされるものづくり企業が数多く存在し、また本学の学生もその方面の県外比率が高くなっています。本年度は舞鶴若狭自動車道も開通いたしました。そのようなわけで、まだ次年度の時期やテーマは未確定ではあるものの、以上のような地域の特色を少しでも反映した大会にできればと考えております。

時期はカニが解禁になり、しかし雪が積もり不便になる前の2015年11月後半から12月にかけてを、テーマは現政権下で最重要課題とされる地方創生を鑑み、パーソナルファイナンスが地域活性化にどのように貢献するかという視点で設定したいと思います。地域の金融業者やクラウドファンディングをはじめ、様々に地域におけるパーソナルファイナンスの可能性が多く存在します。ともあれ、新幹線の2030年福井開通までを待っていますと相当先が長いこととなりますので、ぜひこの機会に当地に足をお運び頂けると幸いです。懇親会も広い場所を今から確保しておきます。どうぞよろしくお願いいたします。

創設15周年記念事業プロジェクト

研究テーマ募集

プロジェクトテーマ「新時代のパーソナルファイナンス」

基本テーマから一つを選択し、規定の書式に研究計画・内容等ご記入の上、ご応募ください。研究内容を体系的にまとめるため、応募の研究計画や内容は、委員会にて審査、また修正依頼を行う場合がございますので、予めご了承ください。多数のご応募をお待ちしております。

基本テーマ

- 1) 金融教育、2) イノベーション、3) グローバリゼーション、4) 制度設計、5) その他

* 規定の書式は、WEBサイトからダウンロードしてください。

予 定		
2014年	12月19日	応募締切
2015年	3月末日	取り上げるテーマの最終案確定（応募者へ通知）
	4月1日	プロジェクト研究スタート
	10月	中間報告
2016年	10月	第17回全国大会にて発表（出版）

応募先：リエゾンオフィス japf@ibi-japan.co.jp

「奨励賞」から「研究奨励賞」へ名称変更

名称が変更になり、これまでの応募・推薦から、Webジャーナル『パーソナルファイナンス研究』掲載の査読付き論文も自動エントリーされることになりました。若手研究者を対象にしておりますが、年齢制限ではなく、アカデミックなキャリアが浅い方としております。今後も応募・推薦のほか、Webジャーナルへのふるってのご投稿をお待ちしております。（大会発表しなくても投稿可）

新会員紹介 2014.9.1～11.26

個人会員 松浦義昭（マツウラ ヨシアキ）

金沢大学経済学類専任講師

- * 新規会員募集中です。ご推薦お待ちしております。（承認に際しては、提出月の翌月初旬を目途に電子理事会にて審議）入会申込書はWebサイトからダウンロードしてお使いください。
- * JAPF News は記事中すべて敬称略としております。

JAPF News 第27号
 発行日：2014.11.27
 発行：パーソナルファイナンス学会
 監修：国際交流・広報委員長
 土井一生（九州産業大学）
 編集：リエゾンオフィス
 【業務委託】(株)国際ビジネス研究センター
 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町518
 司ビル3F ☎ 03-5273-0473